

令和6年度

教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書

令和7年9月

里庄町教育委員会

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という）により、全ての教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに公表しなければならないことになっております。

本報告書は、地教行法第26条に基づき、令和6年度の点検及び評価を行い、報告するものです。

〈参考〉

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 点検及び評価の方法等

1 対象

令和6年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

2 報告

令和7年9月1日 議会に提出

3 公表

教育委員会事務局での閲覧

町役場の掲示場に掲示及び町ホームページでの公開

III 点検及び評価

1 教育委員会の組織・活動

（1）会議の運営等

教育委員会会議は、定例会を毎月1回（令和6年度：計12回）開催しました。（※資料1）全員が出席し、十分な時間を掛けて審議及び協議を行い、充実した運営となっております。審議を深めるための工夫として、事前に事務局に議案書及び関係資料を提出させるよう努めるなど、今後も引き続き改善したいと考えています。

町長とは、総合教育会議（10月・2月）において、「電子黒板の活用について」「今

後の一人一台端末の更新について」「長期欠席・不登校の現状と対策について」を議題として、意見交換や協議、支援の要請などを行うとともに、諸行事で会う機会を通じて意見交換等を行うなど、連携を強化することに努力してまいりました。今後も町当局との連携を図り、一貫した教育行政を進めることが、重要と考えています。教育委員と町長との懇談や意見交換は、両者の円滑な連携と一貫性を図るために重要であると考えており、今後も引き続き実施したいと考えております。

事務局の職員体制については、令和2年度から、学芸員を町費で配置し、文化財などに関する専門性を高め、文化財保護委員と連携することで体制の整備を図りました。学校教育については、学校の指導支援を行う指導主事を継続して配置するとともに、多様化・複雑化する課題などに対応し、指導支援の充実を図るため、新たに指導主事を町費で配置し、複数人体制によるきめ細やかな指導支援を行っています。また、地域と子どもたちを結ぶ教育コーディネーターも継続して町費で配置し、学校教育・社会教育の両面にわたり、専門性を高める取組を行っています。今後も、事務分掌の見直し等を図りながら効果的な体制の整備を図る必要があります。

地域の実情に応じた施策及び地域住民の意向を施策に反映することについては、各校の学校運営協議会の意見に加え、様々な機会を通じて、地域と学校とが協働しながら教育の推進を図っています。これからは、学校教育及び社会教育の両面で工夫や努力が今後一層求められるようになっており、今後も鋭意検討を続けたいと考えております。

教育委員の研修等については、岡山市町村教育委員会連絡協議会主催の研修会がZ o o mでの開催となりました。今後も委員としての識見の向上と、当町の幼児・児童・生徒の学力向上対策や豊かな成長が推進されるよう、努力してまいります。また、岡山市町村教育委員会連絡協議会総会（書面開催）のほか、学力向上対策について、先進地の教育委員会訪問等を通じて、具体的な取組を研修することを目的に、県外視察研修を実施しました。（※資料2）

幼稚園、小・中学校の行事や教育委員会主催の行事にも積極的に参加し、実情を理解しました。（※資料3）また、幼稚園、小・中学校の現状把握のために毎年実施している幼稚園、小・中学校訪問では、学校（園）の取組の成果や課題について、把握することができました。その後、教育委員の見解を聴取したうえ、教育委員会の審議及び協議に役立て、可能な限り学校（園）の支援を行いました。

それ以外にも、教育長、指導主事等が定期的に学校や社会教育関係施設の訪問を限られた時間の中で実施し、現状把握を行ったうえで、教育委員会等に対し、業務の見直しや施設の改善を提案しました。

学校では、教育課程の見直しを行い、時間割を工夫することで、教職員の働き方改革を進めました。

（2）公開性

教育委員会が、町民にとって身近なものとなるよう、可能な限り情報を公開する方針のもとで、定例会の開催予定及び議事内容を町ホームページに掲載しています。議事内

容については、プライバシーや個人情報等で配慮を要する事項も多々ありますので、内容の公開につきましては、今後も慎重に進めて行きたいと考えております。

町主催の分館長会議では、教育長や教育委員会事務局職員が出席し、町民の方々から教育行政等についての意見や要望等が出た場合には、教育委員会で十分な協議を行います。公聴活動は、町民の意志を反映した教育行政を推進するために大切なことでありますので、今後も町民の方々からの意見や要望等をしっかりお聞きするとともに、教育行政施策の広報について、今後も積極的に行いたいと考えております。

また、教育委員会及び学校（園）の取組を紹介した「里ちゃんだより」（※資料４）を年３回発行し、町内全戸へ配付しました。

２ 教育委員会が管理執行する事務

（１）基本的・総務的事務

教育行政重点施策（※資料５）の策定など基本方針の多くは、事務局に原案や資料を提出させ、教育委員会として慎重に審議することができています。

教育関係予算については、幼稚園、小・中学校等の要望を聞き、教育長等が町長へ要求し、教育委員会としての意見を尊重した議案が議会へ提出されるよう努めています。

従来から当町教育予算の比率は高く、教育が重要視されています。教育予算編成の協議に多くの時間を費やし、里庄町の教育がより充実するようにしたいと考えています。

（２）人的管理に属する事務

町立小・中学校の校長等の任免について県教育委員会に対して内申を行っていますが、今後も慎重に行っていきたいと考えています。文化財保護委員等各種委員の委嘱または任免は、教育委員会で議決しています。人的管理に属する事務については、県教育委員会及び町長部局との連携をより密にしていこう努めてまいります。

学校関係職員の研修は計画的・効果的に実施され成果が上がっています。本年度の教職員研修会は、幼稚園、小・中学校の教育職員を対象に、ワークショップ形式で研修を行いました。「授業改善、家庭学習の見直し、非認知能力の向上」をテーマに協議を行い、各学校（園）での実践とこれからの取組のポイントについて学び、２学期以降の子どもの指導・支援に生かしました。

また、令和６年度も、外部人材の活用や支援員等の配置、中学校における部活動休養日の設定、夏季休業中（８月１０日～１６日）及び冬季休業中（１２月２８日～１月４日）の学校・園完全閉庁期間を設定、幼稚園、小・中学校への「自動音声対応電話の導入」の定着、学校・家庭連絡システムの導入など、学校現場における働き方改革に向けて、具体的な取組を実施しました。

運動会や修学旅行、学芸会などの学校行事については、様々な感染症に配慮しつつ、開催内容の検討を行い工夫しながら、実施することができました。

小学校放課後児童クラブ、幼稚園預かり保育の支援員や学校教職員、生活支援員や教

育委員会が、子どもたちの居場所づくりや心のケアに、一丸となって努めた1年間となりました。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 学校教育

小・中学校の全国学力・学力状況調査の結果は、概ね全国平均のレベルにあります。町としての学力向上の方針を示し、各学校も学校としての学力向上策を定めて鋭意努力しています。

教育委員会としても、学力向上を図るためのソフト面やハード面の予算を措置いたしました。町内の学校(園)の教育職員等を対象とした教職員研修を実施いたしました。

いじめ・不登校の解消に向けては、引き続き町をあげて重点的に取り組みましたが、登校できにくい児童・生徒が複数名います。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、浅口市にある「浅口大簡塾(適応指導教室)」を、浅口市と協定を結び利用可能にしています。今後も継続して解消を目指して取り組んでまいります。

特別支援教育については、特別支援学級・通常学級において指導の充実を図っています。具体的には、町の教育相談員が学校の要請により学校を訪問し、具体的な指導方法について支援しています。また、生活支援員を対象に特別支援教育の理解を目的として、研修会を年間2回実施しています。

小学校の通常学級に在籍している発達障がいのある児童は、日常生活での様々な場面で困難さを感じています。その解消のため、児童が在籍している小学校での指導を行うとともに、浅口市立六条院小学校内にある「あすなろ教室」を、浅口市と協定を結び利用可能にすることで、一人ひとりの児童に応じた個別の支援が受けられるようにしています。そうすることで学習の不安や友達関係やコミュニケーション面の不安を解消し、感情のコントロールの仕方等を身につけていきます。

少子化の進行などを背景に、子どもの育ちが大きく変化しており、様々な要因から小学校の生活になじめないことも見受けられます。里庄町では、保幼小接続スタンダードを作成し保育園、幼稚園、小学校が歩調を合わせ、幼児教育と小学校教育を円滑に接続し、子どもの育ちと学びを滑らかにつなげる努力をしています。

さらに、保・幼・小・中のそれぞれの卒業期の姿を設定することで、就学前から中学校卒業までの11年間を見通した保育・教育が行えるようにしています。各卒業期の子どもの姿や、徳知体の各分野で付けたい力を明確にし、各卒業期における「めざす子どもの姿」を設定しています。このことにより、幼稚園の先生が中学校の子どもの姿を意識して保育するなど、子どもの育ちの連続性を意識した保育・教育が行えるようになっていきます。

子どもたちがこれからの時代を生きていく上で、自分で主体的・自律的にキャリアを切り拓いていくための能力の獲得・向上が必要になります。この力は非認知能力と呼ばれています。元岡山大学の中山氏の指導を仰ぎながら、各学校で非認知能力を高める取組を行いました。具体的には、「自分を高める力(意欲・向上心・自尊感情・楽観性等)」

「自分と向き合う力（自制心・忍耐力・レジリエンス等）」「他者と向き合う力（共感性・協調性・コミュニケーション力等）」を高めるために「里庄3ショーンプログラム」を導入しています。年間2回のアンケートを実施し、実態に即した活動ができるようにしています。取組は5年目を迎え、各校は実態に応じて創意工夫をし、学校行事や授業に関連させた活動に広がりを見せています。効果として、児童生徒が穏やかに学校生活を送れるようになり、意欲の向上や子ども同士の関係性の向上、自主性や自立性も見られるようになってきています。

子どもたちが安心して学習や学校生活が送れるように、幼稚園、小・中学校に生活支援員を配置しています。里庄東小学校に6人、里庄西小学校に7人、里庄中学校に3人、里庄東幼稚園に2人、里庄西幼稚園に2人を配置し、落ち着いた学習環境が確保され、十分な成果を上げています。

子どもたちが、スマートフォンやゲームを長時間する中で、ネット上のいじめや犯罪被害につながるケースが、大きな問題となっています。また、健康面の心配や学習時間の減少など、生活習慣の乱れも指摘されています。令和6年11月現在、小学校4年生～6年生の48%、中学校1年生～3年生の80%の児童・生徒が自分のスマホや携帯電話を所持しています。里庄町では、統一ルールとして、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。子どもを守るのは、社会の大人全体の責任であり、とりわけ、子どもの一番身近にいる保護者の行動が大変重要です。そこで、統一ルールと合わせて、家庭内のルール作りを子どもと共に進めるよう、各家庭での取組の徹底をお願いしています。

GIGAスクール構想の本格実施に伴い、里庄町の小・中学校では、一人1台コンピューター端末の導入を行っています。引き続き、児童・生徒に各教科等で必要とされる資質・能力を身につけるため、「一斉学習」「個別学習」「協働学習」の3つの場面での活用を行いました。特に、「協働学習」で活用することを重点とし、協働学習ツールの積極的な活用を進めました。これにより、児童生徒の主体的・対話的な学習に結びついたり、思考力・判断力・表現力やコミュニケーション力の向上に繋がったりするなど、問題解決型学習のより一層の推進がみられました。さらに、GIGAスクール構想のさらなる推進のため、3学期には小・中学校に電子黒板を導入することで、児童生徒の学習内容の理解が深まったり、教職員の指導が行いやすくなったりするなどの効果が出ています。

子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の向上に努め、グローバルな人材の育成を目的とした英語指導助手については、令和元年度から自治体国際化協会による、語学指導等を行う外国青年招致事業「JETプログラム」から3名の体制で授業を行いました。

部活動の地域展開については、現在、中学校の柔道部が地域スポーツ団体において活動を行っています。今後も、他の部活動の状況や近隣市町の動向を踏まえ、状況に応じて計画的に進めて行くこととしています。

里庄町では、学校給食は子どもたちの体や心を育てるのに重要なものであり、食事は人づくりの上でとても大切なこととして、学校給食に力を入れています。新型コロナウイルス感染症の影響により、食堂での給食を控えていましたが、年度当初から、小学校では、全校児童の食堂給食を再開しています。

学校等の教育施設における環境改善を図る取組について、里庄東小学校では、老朽化による改築する屋外トイレの調査設計業務を行うとともに、学校東側の土地を駐車場として整備しました。

里庄西小学校では、経年劣化により傷みが著しいプールの改修を行うとともに、学校給食厨房事務室・休憩室の設備面での改善を行いました。

里庄中学校では、老朽化していた校舎東側の屋外トイレ棟の建替えを実施するとともに、校舎内のトイレの改修も併せて実施しました。また、一人一台端末の整備に伴い、使用頻度が低くなっていた「PC教室」を、様々な目的で利用できる「多目的教室」に改修しました。

また、里庄東・西小学校及び里庄中学校において、学校校務サーバの更新を行いました。

里庄東・西幼稚園では、幼児教育の質の向上を図るため、Wi-Fi 環境の整備を行いました。

(2) 社会教育

新型コロナウイルス感染症は、令和6年度の社会教育にも多少の影響が残ったものの、町民の方々のご理解とご協力のおかげで、徐々に普段の社会教育環境に戻りつつあります。また、工夫や協力をしながら、新たな社会教育環境を形成しています。

町民のニーズに応じた各種講座を開設しており、多くの町民が文化活動を通して生きる喜びを感じ、自己実現を図っています。今後も、企画運営を受講者自身が行う講座となるよう、一層の充実に努めます。

家庭教育については、小学校入学前の就学時健診や中学校参観日の機会を利用し、子育て講座を実施しました。講座の中で、保護者同士が子育ての悩みを共有し、一緒に考える機会を提供しました。また、岡山県が開発した、親自身の学びや成長を支援する参加型ワークショップ「親育ち応援学習プログラム」（通称：親プロ）を進行するためのファシリテーター養成講座を開催し、町内では新たに5名の資格認定を行いました。今後、家庭教育支援事業の質の向上や継続・充実が可能となりました。

平成28年度から始めた、学校の授業だけでなく、子どもたちが自ら学び体験することで生きる力を育み、地域全体で子どもを育てていく事を目的とする「さとしょう未来塾」事業も9年目となりました。自学自習を基本とした学習に取り組む「里ちゃん寺子屋」と体験を通じて子どもたちが「生きる力」を身につける「里ちゃんチャレンジ・ワールド」の2本の柱で、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながらも計画どおり実施し、地元地域の方々や、文化協会の方々、虚空蔵大学生などの協力を得ながら、地域の子どもは地域で育てることをコンセプトに取り組みました。子どもたちが地元の歴

史をあらためて見直し体験する機会や、お互いに協力しながら共同生活する体験キャンプ、地域の方の支援をいただき実施する大原焼体験、地元企業のご協力のもと行う木工教室や、焼き菓子作り体験・工場見学など、子どもたちが普段経験できない事業になるように検討・工夫を行いました。（※資料6）

町立図書館は、順調に蔵書数を増やし、令和6年度末に16万5千冊余りになりました。利用状況については、新型コロナウイルス感染症の影響がほぼ無くなり、1年を通して通常の業務を実施することができ、令和6年度の開館日数は275日、来館者は5万6千人を超え、令和5年度より約1千3百人増加しました。一方、貸出冊数は、約1万5千人の方に約6万2千点の貸出で、やや減少しています。

令和6年度の活動実績として、展示関係では、文化協会関連のもの、幼・小・中関連のもの、里庄出身の方の絵画展など、大小あわせて25の展示を行いました。催し物関係では、ボランティア団体「おはなしトロ」の協力をいただき、年2回のおたのしみ会をはじめ、司書による毎月第2日曜日のおはなし会、レジン液を使用した菊桜のキーホルダー作り、組み木で干支づくりの図書館講座などを行いました。

さらに、図書館では、佐藤清明資料保存会の活動拠点（事務局）として、年間を通して「清明研究会」や「清明を読む会」などの活動に取り組んでいます。特に、毎年開催している「里庄のせいめいさん」展も、多くの方々に好評をいただいております。

令和6年度は、菊桜育成保存会の地道な活動が認められ、「令和6年度全国さくら功労者」に選ばれ、令和6年5月26日に岡山ジップアリーナで開催された「全国植樹祭」に、5名の保存会員が一般招待されました。この植樹祭では、皇后陛下が菊桜をお手植えされ注目されるとともに、その価値を広めることができました。

施設等については、令和5年度の「ふるなびクラウドファンディング」でいただいた善意の資金をもとに、学習環境の拡充を図るため、専用の学習支援スペースを整備し、併せて視聴覚資機材の更新を図りました。また、館内の「おはなしの部屋」は、子どもたちが喜んで本に親しめる環境づくりと、乳幼児と親子が安心して利用できる場所として親子が読みたい本を自由に手にして読むことで、読書の習慣づけができると大変好評をいただいています。

今後も、県立図書館や高梁川流域7市3町の図書館相互利用等、生涯学習の拠点施設として、町内外から好評をいただき、加えて、全ての世代の方々がより楽しく安全安心に施設を利用し、図書館の魅力を再発見していただけるよう、毎月の展示やおはなし会の充実を図り、新たな図書館講座の開催や催し物をより一層楽しいものに改善するなど、様々な取組を行ってまいります。

人権意識の高揚に関する講座として、8月2日に、くらしき作陽大学 藤田由起氏を講師に、「ヤングケアラーの理解と支援」と題し、人権教育講座を実施しました。また、幼稚園、小・中学校のPTA会員を対象に、各学校（園）において研修会を実施しました。今後も状況の変化に適切に対応しつつ、事業の改善等を進めていく予定です。

文化の振興に関しては、総合文化ホール「フロイデ」や福祉会館、中央公民館などを有効に活用し、町民自らの活力や、行政と町民との協働によって、得られるエネルギー

を生かしながら、町民のニーズと本町の実情に合った事業を展開してきました。文化ホール事業では、「夏休み子ども劇場」や陸上自衛隊第13音楽隊「ハートフルコンサート in 里庄」を開催することができ、演劇や音楽などの素晴らしさを実感することができました。引き続き、施設の老朽化などの課題もあり、一層の改善、充実に努める必要があります。

歴史民俗資料館では、仁科・小川両博士関係の遺品や、大原焼、麦稗真田関係の道具類、昔から使用されてきた生活道具や農具などの展示公開も行っています。今後も、文化財保護委員と学芸員が連携して、館内収納物の整理や、開館日の変更や周知方法について検討してまいります。

文化財保護委員会は、教育委員会の諮問に応じて、文化財の指定・解除、保存及び活用に関し必要な事項を調査・研究し、教育委員会に答申しています。令和6年度は、網本善光氏による「里庄町の古代史 一大原古墳群を中心に」と題しての講演や、実際に大原古墳群をめぐる歴史ウォークと、木下浩氏による「備中の酒造りと里庄」と題した講演を、歴史講座として開催しました。その他、小学生を対象とした大原焼の制作体験、資料館を会場としたしめなわ飾り作り体験、絵付け体験などを関係機関・団体の協力のもと、里庄町の歴史や文化について触れるイベントを実施しました。今後も、町内だけではなく町外の文化財研究にも力を注ぎ、文化財保護委員会や学芸員とともに研修を行ってまいります。

里庄町出身の物理学者である仁科芳雄博士の生家については、町が譲り受けて一般公開していますが、老朽化により今後の公開が危ぶまれていることから、ふるさと納税クラウドファンディングなどを利用し「仁科芳雄博士生家修復プロジェクト」を立ち上げました。令和7年4月から令和9年3月31日までを募集期間として、仁科博士の足跡を後世に引き継ぐため、町内外にPRしていくこととしています。

スポーツの振興については、令和6年度も天候に恵まれ、多くのスポーツ事業を実施できました。スポーツ協会主催の大会である野球大会やトレッキングイベント、生涯スポーツであるグラウンド・ゴルフ交流大会、ソフトバレーボール交流大会を実施することができました。

青少年を対象にしたスポーツでは、町内の学童スポーツ団体である、少年野球クラブ、里庄FC、柔道スポーツ教室、剣道スポーツ教室が様々な大会に出場し、日頃の練習の成果を発揮し、各団体が素晴らしい成績を残しました。

町の一大事業である「里庄町民スポーツ交流大会」については、順位よりも幅広い年代の方がスポーツを楽しんでいただけるようにと、従来の競技の参加資格を見直しました。それにより、子どもも参加できるようになり、大人と一緒に競技を楽しむ姿が増えました。

また、毎年2月に開催している体力づくりふれあいマラソン大会についても、無事開催することができましたが、晴れの国岡山駅伝競走大会については、チームを編成することができず、出場することができませんでした。

スポーツ施設の開放については、町内の社会体育施設・夜間の学校施設を町内・町外

の多くの方々に利用していただくことができました。

今後も町民の健康づくり・地域の絆づくりのために引き続きスポーツ行事の運営を行っていきます。

生涯学習施設や文化施設、スポーツ施設など、施設の環境改善の取組については、生涯学習施設では、雨漏り被害が見受けられた中央公民館・老人福祉センターの複合施設について、屋上屋根の一部防水修繕工事を行い、施設の改善を図りました。文化施設では、里庄総合文化ホール「フロイデ」の屋上の一部を修繕する工事を実施し、ホールの環境維持を図りました。スポーツ施設では、野球場トイレ棟の建替工事を行い、利用者が安心して利用できる環境整備を図りました。

今後も計画的に施設環境の充実を図ってまいります。

Ⅳ 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項に基づき、定兼 正明 氏に点検及び評価に関しての助言及び意見をいただきました。

里庄町では従前より、町行政当局・教育委員会・学校現場がお互いを尊重し、信頼関係をもって教育行政が行われています。三者が同じ方向性を持ち、必要なところに人材等を配置し、きちんと予算を措置する、これが里庄町の教育の基本骨格であると思います。また、町役場職員だけでなく教育委員会職員も町民に寄り添った対応をしており、教育委員会がより身近になっていると言えると思います。

教育委員会の仕事は多岐にわたり、常に時代の変化に対応した施策が求められますが、この報告書にあるようにその役目を果たしていると思います。

ただ、その中で個人的に懸念されることも有ります。

学校関係では、急速に進むICTに対応したタブレット端末の配付やデジタル機器の活用が一つのテーマではありますが、活字離れなど十分考慮すべき問題もあり、慎重に進めることも必要だと思います。また、家庭環境や家族構成の変化に伴い、子どもの特性も変わってきており、個々の特質に合った指導をお願いしたいと思います。また、働き方改革で教職員の負担を軽減することはもちろん重要ですが、子どもとの関わりまで減ってしまわないように考慮していただきたいと思います。

社会教育では、生涯学習などで活動されている団体も多いですが、周辺の市町に比べ活動の自主性という面ではまだ改善の余地があるように思われ、より自立した、生き生きとした活動が行えるよう助力していただきたいと思います。

今後も、施策の必要性、有効性を常に考えながら今後の教育行政に取り組んでいただき、住んで良かった、楽しかったと実感できる里庄町を目指していただくようお願いします。

里庄町社会教育委員に点検及び評価についての助言及び意見をいただきました。

- ・社会教育において、新しい様々な取組みが行われ、充実した活動ができている。
- ・老朽化した施設も改修工事が行われ、町民が行事等に参加しやすくなると思う。多くの方が参加することで、人と人とのつながりが広がると思う。
- ・里庄町の誇れる歴史や文化、スポーツ等幅広い分野において取組みが広がっていることが良いと思います。
- ・「さとしょう未来塾」の事業が9年継続しているが、とても素晴らしく感じます。子どもたちが地域の方々とつながる機会が今後も一層増えることを期待しています。
- ・文部科学省が公表した2024年度学力経年変化分析調査によると、5教科中4教科で2021年度調査からスコアが大きく低下している。単に学校や教員の活動を支援するだけでなく、より広範な視点から教育環境全体を整備することが大切だと考える。
長期的な子どもたちの資質や能力を高めていくための施策を展開していくことが必要。
- ・従来から行われている事業や施策、新しい事業や施策がうまく融合して、形づくられていると感じる。コンパクトなまちである強みを活かしながら、子どもたちの特技や特長に応じた施策や事業が展開されている。学校、関係機関、地域住民などの理解と協力を得ながら、町や教育委員会において、ここ数年積み重ねてきたものが、花開いてきていると感じている。子どもたちの成長につながる施策を今後も継続して実施していただきたい。

V 終わりに

令和6年度の本町教育委員会事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施し、学識経験者及び社会教育委員の助言及び意見などをいただき報告いたしました。

里庄町の将来像である「子どもの元気な声が響き みんなの笑顔があふれるまち」を目指し、各分野で様々な施策を行っています。教育の分野においては、「希望を持ち、豊かな心を育むまち」の基本目標のもと、関係機関との連携を図り、直面する課題と向き合いながら、目標の実現に向けて関係各種事業を実施してまいります。

その中で、今後も教育委員自らが点検及び評価をし、教育委員会を充実させ、教育委員会が町民にとって身近になるよう努力し、町民に支えられた、町民のための教育行政が展開できる教育委員会になるよう、引き続き努力したいと考えております。

資 料

資料 1

令和 6 年度教育委員会会議

定例会

4 月 1 日 (月)	5 月 21 日 (火)	6 月 25 日 (火)
7 月 22 日 (月)	8 月 26 日 (月)	9 月 25 日 (水)
10 月 22 日 (火)	11 月 21 日 (木)	12 月 19 日 (木)
1 月 23 日 (木)	2 月 20 日 (木)	3 月 12 日 (水)

資料 2

教育委員が出席した主な研修会等について

※ 里庄町教育委員会県外視察研修

11月14日 (木) ~15日 (金)	兵庫県芦屋市教育委員会
---------------------	-------------

※ 岡山県市町村教育委員会連絡協議会研修会

11月13日 (水)	Zoomによるオンライン会議
------------	----------------

書面会議となったもの

※ 岡山県市町村教育委員会連絡協議会総会

資料 3

教育委員が出席した行事等

令和 6 年 4 月 1 日 (月)	新任教職員着任式
令和 6 年 4 月 10 日 (水)	東・西小学校入学式
令和 6 年 4 月 11 日 (木)	中学校入学式
令和 6 年 4 月 12 日 (金)	東・西幼稚園入園式
令和 6 年 5 月 22 日 (水)	西小学校運動会
令和 6 年 5 月 24 日 (金)	東小学校運動会
令和 6 年 6 月 10 日 (月)	小川賞授与式
令和 6 年 6 月 11 日 (火)	教育委員会学校訪問
令和 6 年 6 月 28 日 (金)	西小学校創立150周年記念式典
令和 6 年 8 月 13 日 (火)	無縁者供養
令和 6 年 8 月 15 日 (木)	平和祈念式典
令和 6 年 8 月 17 日 (土)	理化学研究所里庄セミナー
令和 6 年 8 月 25 日 (日)	仁科芳雄博士顕彰 ロボット・コンテスト2024
令和 6 年 9 月 29 日 (日)	第72回町民スポーツ交流大会
令和 6 年 10 月 10 日 (木)	中学校体育会
令和 6 年 10 月 11 日 (金)	東・西幼稚園運動会
令和 6 年 10 月 22 日 (火)	第1回総合教育会議
令和 6 年 11 月 9 日 (土)	東・西小学校学習発表会
令和 6 年 12 月 6 日 (金)	仁科賞授与式
令和 6 年 12 月 10 日 (火)	仁科芳雄博士生誕日記念科学講演会
令和 6 年 12 月 ¹¹ 日 (水) ₁₂ (木)	東幼稚園学習発表会
令和 6 年 12 月 13 日 (金)	西幼稚園学習発表会
令和 7 年 1 月 12 日 (日)	令和7年里庄町はたちの集い
令和 7 年 2 月 5 日 (水)	令和6年度里庄町立志の会
令和 7 年 2 月 20 日 (木)	第2回総合教育会議
令和 7 年 2 月 26 日 (水)	令和6年度仁科芳雄賞授与式
令和 7 年 3 月 14 日 (金)	中学校卒業式
令和 7 年 3 月 18 日 (火)	東・西小学校卒業式
令和 7 年 3 月 19 日 (水)	東・西幼稚園卒業式

里ちゃんだより



里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

里庄町教育委員会 教育長 杉本 秀樹

町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、平素より何かと大変お世話になっておりますことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、里庄町では、「子どもの元気な声が響きみんなの笑顔があふれるまちをめざして」を基本目標として、教育行政の推進を図っています。里庄町の次代を担う人づくりを推進するためには、学校、家庭、地域が一体となって取り組むことが大切です。また、大人も子どもも夢や目標に向かって、いきいきと生活できるように、地域に根ざした、文化、芸術、スポーツ等を生涯にわたって学び、楽しむことができる環境づくりを進めてまいります。

学校や幼稚園においては、落ち着いた集団生活の中で、一人ひとりの子どもたちが自分のよさを伸ばしたり、友達の下さに気づいたりできるように指導することが大事であると考えています。そのためには、何よりも子どもたちの頑張りをきちんと見ることができ、確かに認めることのできる指導者でなくてはならないと考えています。教職員の活躍と子どもたちの健やかな成長を願い、町民の皆様方の今後とものご支援・ご協力をお願い申し上げます、ごあいさついたします。

令和6年度 里庄町の教育目標

子どもの元気な声が響き、みんなの笑顔があふれるまちをめざして

- 1 生きる力を育む学校教育の推進
 - 学校教育「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」
 - ・認めること ・非認知能力の育成（3シヨンプログラム～「里庄」の力～）
 - ・学校給食 ・GIGAスクール
 - 家庭教育（認めること、基本的な生活習慣、しつけ、あいさつ、家庭学習）
 - 地域の人々との連携（コミュニケーションの推進）
- 2 心豊かで生きがいを感じる生涯学習の振興
 - ・主体的に学習機会を選択して学び、その成果を社会に活かしていくことができる「生涯学習によるまちづくり」の実現 ・豊かな地域づくりに反映される生涯学習の推進
- 3 やすらぎとうるおいを感じる芸術・文化の振興・歴史の保存
 - ・総合文化ホール等の各施設の文化活動を充実
 - ・郷土に対する理解や愛着を深め、豊かな感性や心の育ちを促進するシビックプライドの醸成 ・世代を超えての各種文化活動や町民の文化遺産保護意識の高揚
- 4 生涯にわたるスポーツ活動の振興
 - ・各種スポーツ活動の振興 ・スポーツ指導者の養成・確保
- 5 異なる国や地域・人との交流活動の推進
 - ・幼稚園、小、中学校における、国際理解教育、英語活動の推進
 - ・国際感覚を養う機会を提供し、多文化共生社会の実現を推進

認めて育てる!

学校園紹介

～今年度の学校園の取り組みをお知らせします～

心豊かに自ら学ぶ生徒の育成を目指して

「勇氣ある一歩を踏み出してください。」始業式・入学式でこのように生徒に伝えて、令和6年度をスタートしました。たった3年しかない中学校生活。多くのことを「自分ごと」として捉え、主体的に「気づき・考え・実行する」ことで、314名の生徒全員が成長してほしいと切に願っています。

本年度は、27時間プロジェクトの本格実施、里中授業スタンダードの確立、朝学習【おはスタ】の開始、単元テストの充実、定期テストから習熟度テストへ、非認知能力である9つのつきたい力の焦点化など、昨年度の反省や学校評価アンケートのご意見などを参考に大きな変革に取り組んでおります。試行錯誤しながらのスタートではありますが、「生徒たちに力をつける。」という共通のゴールに向かって、そして次に示すような生徒の育成を目指して全職員で取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

《里中中学校目指す生徒像》

- 主体的・協働的に学習し、「分かった」「できた」「できた」を体感できる生徒
- 夢や希望をもち、何事にも果敢に挑戦し、自分の道を拓くことができる生徒
- 自分を大切に、人を大切に、地域を大切に、思いやりと感謝の心をもつ生徒

本年度は、3年生が4年ぶりに沖縄へ修学旅行に行きました。3日間天気に恵まれ、沖縄の歴史と文化に触れることができ、良い思い出がたくさんできました。2年生は5月に広島研修を行い、【Piece of Peace】のスローガンのもと、平和について学びを深めることができました。1年生は入学して間もない4月23日に福山研修を実施し、「仲間づくり」をテーマにみんなで活動しました。あいにくの天気でしたが、全員で取り組んだドミノで心を一つにすることができました。それぞれの学年で、新年度最初の行事を無事に終え、良いスタートを切ることができました。



【3年生沖縄修学旅行】

【1年生福山研修】

【2年生広島研修】

行事、普段の教育活動の様子は本校ホームページ「活動のブログ」で紹介しています。ご覧ください。

「心豊かでたくましく里見っ子」の育成を目指して

里庄東小学校・東幼稚園長 土屋 新太郎

里庄東小学校は、本年度全児童 307 名、全 15 学級でスタートしました。

昨年度、里庄町主催の創立 150 周年記念式典を終え、大きな節目となりました。この節目に校訓「明るく」「強く」「正しく」を原点として、「よく学ぶ子」「くじけない子」「おもいやる子」の育成を目指します。特に、本年度は「主体的に学習に取り組み、学び合う児童」と「自己存在感をもち、目標に向かって挑戦する児童」を 2 本柱として、落着いた学習環境の中で、日々子どもたちが授業や特別活動に全力で取り組むことができる学校づくりを進めます。

(1) よく学ぶ子・・・「明るく」

- 主体的学習意欲を高める。
- 互いに学び合おうとする態度を養う。
- 基礎学力の定着を図る。
- 表現力の向上を図る。

(2) くじけない子・・・「強く」

- 自ら進んで体力向上や健康増進を図ろうとする態度を養う。
- 互いに高め合い、最後までやり抜こうとする態度を養う。

(3) おもいやる子・・・「正しく」

- 自己存在感（自己肯定感・自己有用感）を高める。
- 他の人を大切にする言動を心がける児童及び集団に高める。



運動会の組体操に全力で取り組む児童

東幼稚園は、年少りす組・年長くま組を合わせて 36 名でスタートしました。昨年度 1 月に、本園創立 70 周年の節目を迎えました。園児が互いに関わり合い、五感を使って主体的に遊ぶことを通して、「げんきな子ども」「やさしい子ども」「がんばる子ども」「かんがえる子ども」を育てていきます。

本年度も、保護者、地域の皆様の温かいご支援と見守りをいただながら、里庄東小学校、幼稚園ともに、教育目標「心豊かでたくましく里見っ子の育成」を推進していきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



サツマイモの苗植えを体験する園児

教育相談日のお知らせ

日時 毎週 月曜日・火曜日・水曜日
午前 9:00～12:00 午後 1:00～5:00
場所 「里庄むつみ会館」(里庄町大字里見 1004 番地)
お子様の学習や発達障害等について、相談を希望される方は、教育委員会事務局 ☎ (0865) 64-7212 までご連絡をお願いします。(ご希望日時が重なった場合、調整させていただきます。)

担当者 教育相談員 栗尾 康子

里西っ子の『生きる力』を育てる

～夢や目標、なりたい自分に向かって挑戦することを大切に～

里庄西小学校・西幼稚園長 柚木 康男

本年度、里庄西小学校は全校児童 356 名、全 16 学級でスタートしました。「切磋琢磨」の校訓と教育目標「里西っ子の『生きる力』を育てる」のもと、めざす子ども像の「よく考え進んで学ぶ子ども」「仲良く助け合う子ども」「明るく元気な子ども」の 3 つを目指します。本年度は特に夢や目標、なりたい自分に向かって挑戦することを大切に、様々な活動に主体的に取り組み、いけるように支援してまいります。また、コロナ禍で中止していた全校での食堂給食を再開しています。子どもたちのよさや頑張りを確かに認め、様々な人との交流を通して自己肯定感や非認知能力を高める教育を進めます。重点としている具体的な取組は次のとおりです。

(1) よく考え進んで学ぶ子ども (知)

- 学ぶ楽しさ、できる喜びを感じる魅力ある授業づくり
- 基礎・基本の徹底 ○伝え合う活動の充実で表現力を育成
- 学習規律の徹底 ○意欲的に進める家庭学習の充実

(2) 仲良く助け合う子ども (徳)

- 認めて伸ばし自己肯定感を育む学習指導・学校行事
- 人・時間・協働を大切にする生徒指導 ○道徳指導の充実

(3) 明るく元気な子ども (体)

- 体力づくりの推進と健康安全の強化
- 基本的生活習慣の確立 ○食育の推進



全校で一しょに給食を食べる児童 (食堂給食)



ファミリー (縦割り班) で地域の方と里庄音頭を踊る児童 (運動会)

西幼稚園は、年少ちゅうりっぷ組・年長すみれ組を合わせて 29 名でスタートしました。小学校と一貫した教育目標「里西っ子の『生きる力』を育てる」を設定し、健全な心と身体を育成するためにふさわしい環境を整え、子どもたちの成長と発達、育成に努めて参ります。そして、遊びを通して自分から進んで考え行動できる「意欲をもってがんばる子」、人との関わりの中で、相手を思いやり、人を傷つけない正しい言葉遣いのできる「思いやりのある子」、あさが自然に言えて、元気に遊び、遊びの中から学べる「元気な子」を育てていきます。小学校との連携を一層強化し、子どもの学びの連続性を大切にしていきます。

本年度も、保護者、地域、町民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、心豊かで、たくましく里西っ子を育てていきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



異年齢で一緒に遊ぶ園児



運動会練習で小学生と交流するすみれ組の園児

里ちゃんだより



里庄町教育委員会 電話 0865-64-7212

教育長あいさつ

里庄町教育委員会 教育長 杉本 秀樹

町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、何かと大変お世話になります。改めまして心より感謝申し上げます。学校園では、2学期もはや3か月が過ぎ、あと1か月を残すのみとなりました。子どもたちは元気に過ごしております。これもひとえに学校園の取り組みに対しまして、家庭、地域の皆様のご理解とご協力のおかげであります。心より感謝申し上げます。生涯学習につきましても、町民の皆様の精力的な活動の様子を拝見し、笑顔あふれるお元気なご様子が以前にも増しているようで、本当にうれしい限りです。これまで以上に、ご利用いただける方々の元氣と笑顔があふれるように、教育委員会職員も頑張っていきたいと考えております。

今後とも皆様のご理解とご協力を仰ぎながら、学校教育・生涯学習のさらなる推進を図ってまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

里庄町の子どもの学力について（全国、岡山県学力・学習状況調査の結果より）

今年度も、全国学力・学習状況調査、並びに岡山県学力・学習状況調査が行われました。結果の概要をお示しします。全体としては、ここ数年、全国平均と比べてほぼ同程度か上回る状況であり、特に大きく心配する状況は見られません。

【全国学力・学習状況調査】

小学6年生	国語 全国平均を上回る 算数 全国平均並み
中学3年生	国語 全国平均を上回る 数学 全国平均を上回る

【岡山県学力・学習状況調査】

小学3年生	国語 県平均並み 算数 県平均並み
小学4年生	国語 県平均を上回る 算数 県平均並み
小学5年生	国語 県平均並み 算数 県平均並み
中学1年生	国語 県平均を上回る 数学 県平均を上回る
中学2年生	国語 県平均並み 数学 県平均並み 英語 県平均を上回る

今後とも、結果だけを見て一喜一憂するのではなく、子どもたちのよさや頑張りを的確に認め、自己肯定感を育みながら、一人ひとりの子どもたちがもっている力を、さらに伸ばしていくことが大切だと考えています。

里庄町では小学校と中学校が連携して、学力向上の重点目標を次の3点に決めて、充実を図っています。

- ①基礎・基本の徹底
- ②表現力の育成（書く力）
- ③家庭学習の充実

今後とも、学校・家庭・地域で力を合わせ、「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」の育成に全力で取り組んでまいります。
（文責 指導主事 天野正彦）

Something Fun Something Interesting（楽しいこと 面白いこと）

里庄中学校長 國府 道弘

本年度より、総合的な学習の時間の在り方を見直し、全学年で「課題解決型学習を一本」をテーマに各学年で研究を進めています。限られた時間の中で、効果的・効率的に課題解決型学習を行うことにより、生徒達に「生きて働く力」をつけることを目的としています。「自ら課題を発見し、仮説を立て、解決策を考え、発信する」ことをとおして、昨年度から取り組んでいる①忍耐力②レジリエンス③協調性④コミュニケーション能力⑤郷土愛⑥当事者性⑦論理的思考⑧批判的思考⑨創造性という9つの「つきたい力」の育成を加速させたいと思っています。また、次のように3年間を見通して、系統的に取組を進め、「自分の道を拓く」生徒の育成を目指しています。里庄探訪や職場体験など、地域の方々にお世話になる場面が増えてきておりますが、快く協力いただいていることに感謝の気持ちでいっぱいです。今後ともご協力とご指導をよろしくお願いいたします。

	1年生	2年生	3年生
	地域に学ぶ	先人に学ぶ	社会に学ぶ
	先人に学ぶ	社会に学ぶ	先人に学ぶ
	先人に学ぶ	社会に学ぶ	先人に学ぶ
主な学習活動	(福山研修にむけて) ①「里庄探訪」探究活動【地域】 ②進路学習【拓く】 ③広島平和学習【先人】	(広島訪問) ①職場体験学習【地域・社会・拓く】 ②沖縄平和学習【先人】 (立志×だっぴ)	①沖縄平和学習【先人】 ②進路学習【拓く】



1年生里庄探訪



2年生職場体験



3年生沖縄探究
2・3年生合同発表会

体育会 10月10日（木）

今年度は練習期間に雨に見舞われ、グラウンド状況が悪く、予行なし、ぶつつけ本番で臨みましたが、素晴らしい体育会となりました。普段の学校生活の様子が表れ、臨機応変に全員が一生懸命活動している姿に大感動しました。特に3年生の動きと盛り上がりは最高で「さすが！」の一言です。下級生に良いバトンを渡してくれたと思います。「一生懸命はかっこいい!!!」

ご協力いただきました保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。



3年生 全員集合写真

裏面に続く

校訓「明るく」「強く」「正しく」 里庄東幼稚園・東小学校長 土屋新太郎



学び合い学習 5年生 家庭科

里庄東小学校の校訓は、「明るく」「強く」「正しく」です。本校では、この校訓を1つずつ各学期ごとのテーマとして、日々の教育活動の充実を図っています。

1学期は、「明るく」でした。明るく笑顔で気持ちのいいあいさつができ、友だちと仲良く学び合うことを大切にできました。5月の運動会では、一人ひとりの児童の表情が豊かで、見る人たちに元気と勇気を与える素晴らしい演技ができました。また、あいさつ運動では、「相手の目を見て、名前をつけて自分からあいさつしよう」を目標にあいさつの輪を広げました。

続く2学期のテーマは、「強く」です。弓を引く時のような力強さとともに、最後までやり抜く粘り強さを身につけるために、様々な活動に取り組んできました。決められた宿題の他に、自ら進んで行う自主学習では、「めあて、テスト、分析、練習」の繰り返しにより、自分の目標達成に向けて工夫されたものが多く見られました。日々の授業では、各授業のめあてや学習方法を自分で決めたり、タブレットを活用しながら互いの意見を交流することで、考えを深める学び合い活動をしたります場面も多く取り入れていきます。11月に行われた学習発表会では、「みんなカラフル〜明るい笑顔いっぱいいのさとみっ子〜」のテーマでおり、各学年の一人ひとりの個性が輝き、それぞれの得意を活かし、全体として素晴らしいハーモニーを作り出した見事な発表を、多くの保護者や地域の方々にご覧いただくことができました。もちも大満足の様子でした。

一方、里庄東幼稚園は、「げんきなこども」「やさしいこども」「がんばるこども」「かんがええるこども」の育成をめざしています。10月に行われた運動会では、かけっこ、リレー、踊りや親子競技を通して、からだを動かすことの楽しさや友だちをおもいやることの大切さ、そして最後まであきらめずがんばったときの達成感を学びました。また、日々の遊びの中で「おもしろそう やってみよう もっとやろうよ」と園児の心が動き、自分たちで工夫して遊びを創造できる力を醸成できるよう、五感を使って試行錯誤できる遊びや環境の構築に努めています。

現在、12月初旬に行われる生活発表会に向けて、りす組・くま組ともに練習に取り組んでいます。また、屋外では、竹馬や縄跳び、ホッピングなどにも挑戦しています。みんなで励まし合いながらがんばる園児たちの表情は、とても輝いています。保護者や地域の皆様、今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



学習発表会 2年生 スイミー



うらじゃ踊りに挑戦する園児



ハロウィンでおおげに愛身した園児

夢や目標、なりたいたい自分に向かって挑戦を続ける里西っ子

里庄西幼稚園・西小学校長 柚木 康男

里庄西小学校は、明治6年に醇成小学（明治9年より醇成小学校）として創立以来、昨年度150周年を迎えました。校訓「切磋琢磨」の伝統を大切に学校教育目標「里西っ子の生き生きの育成」に取り組んでいます。特に本年度は、「夢や目標、なりたいたい自分に向かって進んで挑戦すること」を言葉に、様々な活動に主体的に取り組んでいけるように支援しています。

里庄西小学校では、始業前にあいさつ運動や朝掃除に多くの児童が取り組んでいます。「あいさつが進んでできるようになりたい。」「学校をきれいにしたい。」児童がなりたいたい自分に向かって粘り強く努力をしている様子です。里庄西小学校の朝は、児童のやる気があふれています。また、11月に行った学習発表会では、今まで学習してきたことを多くの人に知っていただくために、友達と協力し、発表の仕方を工夫して分りやすく伝えました。保護者や地域の方に頑張りを認めていただき、児童は満足感や達成感を味わっていました。

里庄西幼稚園では、異年齢で一緒に活動することで、相手を思いやる気持ちが育まれるようにしています。年少児は、年長児が遊んでいる様子を見て、憧れを抱いたり、新しい遊びやルールを覚えたりします。また、年長児は、自分たちが手本となり、自分の言動に自信をもったり、成長の喜びを感じたりします。こうした集団の中で、遊びを通して生活に必要な力や態度を身に付け、心豊かに生きていく力を育てます。教師は遊びの環境構成や援助の工夫に努めています。

また、令和3年度から始まった里庄西幼稚園・里庄西小学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）では、継続してあいさつを重点にして取り組んでいます。11月には、学校運営協議会が主催であいさつの輪を広げることが目的に、第2回紙ヒコーキ大会を実施しました。園児や児童、保護者、そしてたくさんの方々が参加していただき、地域の方と交流を深めました。今年は、紙ヒコーキの世界チャンピオンも参加していただき大いに盛り上がりしました。

このように学校・園では、保護者や地域の方と連携して、人との関わりを大切に、豊かな学びができるように取り組んでいます。これからも園児・児童のよさや頑張りを的確に認めながら、非認知能力の向上を目指し、豊かな体験を通して、「里西っ子の生き生きを育てる」という学校・園目標の実現に努力してまいります。今後とも保護者、地域、町民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



朝の掃除に取り組む様子



学習発表会で、学んだことを発表する様子



運動会で「パラバルーン」に挑戦する園児



第2回紙ヒコーキ大会の様子（学校運営協議会主催）

里ちゃんだより



里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

「町民の皆様、いつもお世話になっております」

町民の皆様には、教育行政の推進にあたりまして、ご理解とご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。本年度も、町民の皆様のご協力により、様々な事業を実施することができました。参加いただいた方の笑顔や元気な姿を拝見でき、本当にありがたく思います。これからも、皆様のご意見をお聞きしながら、よりよい事業になるように実施していきたいと考えております。

本紙は、今年度行った教育委員会や学校・園の事業の一端をお知らせいたします。紙面の関係で掲載できませんでしたが、マラソン大会や、文化ホール事業（夏休み子ども劇場、陸上自衛隊のコンサート）なども、多くの観覧者にご来場いただいていた開催できております。これから、教育委員会の職員一同が一丸となって、町民の方をはじめ、お越しいただく全てのお客様に、笑顔でお帰りいただけるような催し物を企画していきたいと思っております。ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

（文責：事務局長 村山 弘美）

「生きる力」向上プロジェクト “さとしよう未来塾”里ちゃんチャレンジ・ワールド

○「冒険キャンプ2024」IN 倉敷市自然の家

7月25日（木）～26日（金）に東・西小学校6年生30名が参加し、倉敷市自然の家で豊かな自然環境の中で「本物体験」をしました。地図を頼りにグループで五感を働かせ、植物を調べるグリーンアドベンチャー、協力して薪割りや火おこしも行う野外炊事、暗闇の中で厳かに燃える火を囲みスタンプを楽しむキャンプファイヤー、班ごとに課題に挑戦するプロジェクトアドベンチャーなどを体験しました。暑い日でしたが、小学校最後の夏、思い出を残すことができました。



○めざせ！パティシエ 焼き菓子作り体験と工場見学

8月7日（水）、町内小・中学生40名が参加して、株式会社サンラヴィアン岡山本社工場（里庄町）において焼き菓子作りを体験しました。「難しい」と思っていたけれど、やさしく教えてくださったので、失敗なくできました。工夫したところは、卵に砂糖を入れて、よく混ぜるところです。よく混ぜないとマドレーヌがシャリシャリするからです。「作って持って帰ったら、おばあちゃんもおじいちゃんも、『お店ぐらいおいしい』『売ってもいいんじゃない』と言ってくれました。教えてくださった方々のおかげです。」などの感想がありました。



○ボックススタンドを作ろう！ 木工と工場探検

8月22日（木）、東・西小学生25名がAKASE GROUP株式会社岡山本社（里庄町）で高級家具材ウォールナットを使っての木工「ボックススタンド」づくりを体験しました。職員の方々と本格的な家具の組み立てと同じように、丈夫に仕上がる仕組みを丁寧に教えていただきました。また、工場見学では、一つひとつ丁寧に製品が仕上がっていく様子に、子どもたちは目を輝かせていました。



（文責：蜂谷 真治）

小中学校に電子黒板を導入しました！！

1 電子黒板とは

今年度、国の補助金を活用して、小中学校の通常学級・特別支援学級・特別教室に電子黒板を導入しました。電子黒板とは、パソコンの画面を投影することができ、文字や図形を直接書き込める黒板のことです。従来の黒板やホワイトボードではできなかった、画像や動画の表示、タッチ操作、データ保存が可能です。



電子黒板

2 利用場面

学校では、次のような利用をしています



実習でやり方を示す

わかりやすく説明する

授業内容を振り返る

なるほど、わかった

先生、関心を高める

明確に伝える

児童生徒に考えさせる

児童生徒に考えさせる

児童生徒に考えさせる

児童生徒に考えさせる

児童・生徒に貸与しているタブレットパソコンを無線でつないで活用するなど、工夫しだいで活用場面は大きく広がっています。



出典 「授業がもっとよくなる電子黒板活用」(文部科学省)

3 小中学校での利用の様子

町内の小中学校での実際の利用場面です。教師が使ったり、児童・生徒が使ったりしています。



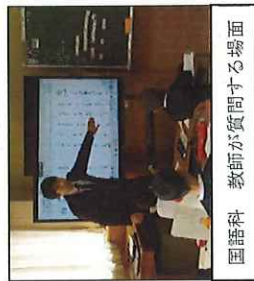
東小



西小



中学校



国語科



算数科



理科

児童が発表する場面

教師が質問する場面

児童が書き込む場面

英語科 アメリカと遠隔授業

これからも、児童・生徒の学ぶ意欲の向上や学力向上のため、電子黒板等の効果的な利用について研究を進めていきます。

（文責：天野 正彦）

令和7年里庄町はたちの集い ～ふるさとの仲間とともに、二十歳の誓い～

1月12日（日）、里庄総合文化ホールにおいて「里庄町はたちの集い」記念式典が厳粛に開催されました。澄みきった冬晴れのもと、二十歳を迎えられた88名が出席され、家族や来賓、恩師らが見守るなか、二十歳の門出を祝いました。

式典では、「里庄町の歌」斉唱や町民憲章朗読などの後、来賓の方々から温かいお祝いのメッセージが贈られ、参加者代表が「当たり前の日々」に感謝しながら、社会の一員としての自覚と責任をもち、自分の夢、将来の目標に向かって精進してまいります。」と、力強く感謝と決意を述べました。

また、式典終了後は、はたちの集い実行委員の企画運営により、小学校、中学校時代の恩師をお迎えして交歓会が行われました。久しぶりに再会した同級生や先生たちとの会話が弾み、写真を撮り合う姿や、卒業アルバムやタイムカプセルを開き、懐かしい思い出話を花を映かせる様子が見られました。

里庄町の未来を担う皆様、改めておめでとうございます。里庄町は、若い皆様が成長し、活躍できるような町づくりに努めるとともに、これからの皆様の一層のご活躍を心より応援しています。

（文責：山本 華代）



記念式典の様子

交歓会の様子

親育ち応援学習プログラム「自分でできたよ！うれしいな」～入学までに応援できること～

10月3日（木）に里庄東小学校、10月24日（木）に里庄西小学校で、令和7年度入学予定の保護者を対象に、親育ち応援学習プログラムを実施しました。このプログラムの目的は、子どもの健やかな成長とともに、互いに子育てについて学び合い、親として育ち合うことです。

今回は「自分でできたよ！うれしいな」～入学までに応援できること～という、小学校の入学までにどのような準備ができるかを、保護者の皆さんと考えるプログラムを実施しました。里庄町親育ち応援学習プログラムファシリテーターが、進行役としてプログラムを進行し、入学まで約半年の間に、どのような準備ができるか、子どもとどのように接することでスムーズに小学校へ入学し、学校生活を楽しむことができるかなどを、保護者の皆さんと共に考えました。

参加した保護者の皆さんから「保護者同士で悩んでいることや、不安に思っていることを共有できてよかった」「小学校の入学までに何を準備すればいいか、考えるきっかけになった」などの感想がありました。

今後子どもたちの健やかな成長とともに、互いに子育てについて学び合い、親として育ち合うことのできる学習機会を、里庄町親育ち応援学習プログラムファシリテーターの皆さんと共に提供していきたいと考えています。

（文責：小野 修平）



教育施設の老朽化対策の推進

教育施設は、日常のみならず有事の際においても、十分な安全性や機能性を有しておくことが求められています。築40年以上が経過する施設が多くなり、建設当初には確保されていたこれらの性能なども、経年劣化とともに必要な性能が低下してきます。教育委員会では各教育施設の老朽化を把握し、現在社会において求められる機能を集約しつつ施設の修繕や建替えを行うなど、教育施設の老朽化対策を推進していきます。

（文責：淡路 尚久）



①中学校屋外トイレ棟（着手前）

②中学校校舎内トイレ（着手前）

③野球場屋外トイレ棟（着手前）



①中学校屋外トイレ棟（完了後）

②中学校校舎内トイレ（完了後）

③野球場屋外トイレ棟（完了後）

第72回里庄町民スポーツ交流大会

9月29日（日）快晴の中、第72回里庄町民スポーツ交流大会が開催されました。昨年度より町民の皆さまがスポーツを通じてふれあい、分館の交流を深めることを主たる目的とし「厚生体育大会」から「スポーツ交流大会」に名称を変更しました。順位よりも幅広い年代の方がスポーツを楽しんでいただけるようにと、従来の競技の参加資格を見直し、子どもも参加できるようになり、大人と一緒に競技を楽しむ姿が増えました。今大会では9種類の競技を行い、東西に分かれて行った小学校1～3年生による玉入れで3回戦とも引き分けとなった

大接戦の後には、未就学児が鬼役からお宝を取り返すかわいらしい姿に、会場はたくさんさんの笑顔であふれました。また、大会最後を締めくくると、選手への熱い声援と称賛の拍手が送られたレースの展開に、選手が楽しめる「里庄町民スポーツ交流大会」を引き継いでいくために、様々なご意見を参考にしながら、今後も運営を行ってまいります。

（文責：大植 玲）



里庄町教育委員会の重点施策

○ 学校教育の安定と充実

1 落ち着いた集団づくり

- ・ 基本的な生活習慣
- ・ 生活規律、学習規律の徹底（あいさつ、そうじ、はきもの、話の聴き方）
- ・ WEB Q-U 検査（小1から中3まで年2回の実施）
- ・ 非認知能力アンケート結果の有効活用
- ・ 生活支援員の配置（幼・小・中で計20名）
- ・ 教育相談員の配置
- ・ 家庭との連携（里ちゃんだよりの発行、親学研修）

2 確かな学力をつける

- ・ 1時間1時間の授業を大切にする。学習内容の確実な定着（授業改善の推進）
- ・ 全国・県学力調査の有効活用
- ・ 小中連携の取組

※里庄町の学力向上の重点目標

小中連携による落ち着いた学習環境づくりと学習意欲を高める
ための授業改善

- ① 基礎・基本の徹底
- ② 言語活動の充実による表現力の育成
(論理的に書く力・コミュニケーション力)
- ③ 秋田の授業を参考に（知識技能の確実な定着と話し合い活動の充実）
- ④ 里庄3ションプログラムの着実な実施と有効活用
- ⑤ 家庭学習の充実（自主学習を基本とした取組、復習、予習を意識）
・・・手引きの活用、生活時間調査

※相互授業参観、出前授業、体験授業の実施、合同研修会（幼稚園含む。）

- ・ 反復学習と補充学習

※朝の学習、帰りの会、サマースクールの実施

3 豊かな心、豊かな人間性の育成

- ・人権教育、道徳教育の推進
- ・家庭・地域との連携、ふるさと里庄町への郷土愛を育てる。
立志の会、二分の一成人式の取組、地域の偉人の学習
- ・生涯学習との連携（さとしょう未来塾）
- ・食堂給食の推進と活用

○ 社会教育の充実

- ・さとしょう未来塾（里ちゃん寺子屋、里ちゃんチャレンジ・ワールド）を開設
※暁天座禅、地元企業や国際交流協会との共催事業、陶芸教室、科学教室
歴史や福祉活動の勉強や体験、地域の方々との共催事業等）
- ・子どもに豊かな心や科学的素養が育つ環境や機会を提供
※仁科芳雄博士生誕日記念科学講演会、柔道・剣道スポーツ教室、野球、
サッカーなどのスポーツ少年団、立志の会 など

○ 家庭教育の充実

- ・小学校の就学時健康診断や中学校の参観日に、子育て講座（親育ちの研修）
を開催
- ・家庭教育支援チーム設立に向けての準備・体制整備を行う。

資料6

さとしょう未来塾

○ 里ちゃん寺子屋事業 参加人数

5 月 13 人	6 月 12 人	7 月 13 人	8 月 19 人
9 月 10 人	10 月 12 人	11 月 6 人	12 月 7 人
1 月 10 人	2 月 10 人	3 月 14 人	

参加者 小学校4年生から6年生及び中学3年生 16 人

指導ボランティア 10 人（町内一般成人のみ）

1 回あたり平均参加者 約 7 人

※ 中学校定期考査中に、中学生を対象とした寺子屋事業を開催

○ 里ちゃんチャレンジ・ワールド 参加人数（指導者等を含む・複数回数実施は延べ人数）

スポーツ教室 36 人

暁天座禅 211 人

冒険キャンプ 30 人

大原焼に挑戦 1 15 人

大原焼に挑戦 2 15 人

焼き菓子作り体験と工場見学 39 人

木工作と工場探検 25 人

ハロウィンフォトコンテスト 43 人

わくわく科学ランド 122 人

しめ縄づくり 35 人

雪遊びをしよう 35 人